

News Letter

第17号 Sep. 2017

NAROダイバーシティデーを開催しました

農研機構におけるダイバーシティ推進のためのイベントを行う日として、NAROダイバーシティデーを設定しました。イベント内容、開催日は固定せず、各年度で必要な取り組みを行います。今年度は9月5日に2部構成でイベントを行いました。

第1部 男女共同参画／ダイバーシティ推進セミナー「イノベーションと女性リーダーの育成」

■参加人数

78名（会場 50名／Skype会議ブロードキャスト 28名）

■日時 平成29年9月5日（火）13:15～14:45

■場所 食と農の科学館 オリエンテーションルーム

■講師 國井 秀子氏

芝浦工業大学 学長補佐、男女共同参画推進室長、
大学院工学マネジメント研究科教授



日本の国際競争力の成長に向け、研究機関に必要とされるイノベーションと女性リーダーの育成について、株式会社リコーでのご経験を元にご講演いただきました。

参加者からは、「ポジティブアクションの施策としての意味を再認識できた」「日本の規制はポジティブリスト+評価は減点主義というお話しは大変興味深かったです。」「講演の中にあつた「変革は上司の責任」については、思い当たるものがあつた。セクハラ、パワハラにならないよう女性に対する言動に気を遣いすぎて、日頃のコミュニケーションも取りづらい風潮になっていないか、と思っている。」というご意見がありました。

第2部 平成29年度 第1回「明日に向けて外国人研究者と話してみよう！聞いてみよう！」

今回の検討会・情報交換会は、外国人研究者の研究等の支援推進を図るため、海外からの外部研究員、研修生からの意見を集約し、外国人研究者の増加に向けた取り組み、サポート体制強化の一助することと、また、研究員等同士のネットワーク構築に寄与することを目的に交流会を開催しました。（国際室・男女共同参画推進室）

■参加人数

- ・検討会 49名（うち外国籍16名）
- ・情報交換会 32名（うち外国籍14名）

■日時 平成29年9月5日（火）

検討会15:00-17:15／情報交換会 17:30-19:30

■場所 第一研究本館大会議室

■話題提供者

- ・安 東赫 Dong-hyuk Ahn（野菜花き研究部門）
- ・スプレイグ デイビット シゲル David S. Sprague
（農業環境変動研究センター）
- ・アントニオ バルタザール Baltazar A. Antonio（本部）
- ・ザベリナ バレリヤ Zabelina Valeriya（生物機能利用研究部門）
- ・マルコ ストイッチュ Marko Stoic（畜産研究部門）



● 検討会では、5名の先輩研究員（外国人）から自分の研究紹介（自己紹介を含む）や今まで研究を続けられたモチベーション、日本での研究活動や生活する上で大変だったことおよび困っていること、農研機構または日本を選んだ理由（きっかけ）、活用した農研機構の制度（休暇等）などについてお話を伺いました。

● パネルディスカッションでは、役員を交えて、話題提供者とともに農研機構で研究の仕事をしていて困ったことや農研機構への要望、今後のビジョンなどについてディスカッションしました。

● 検討会の終了後、参加の皆さんが気軽にコミュニケーションできる情報交換会を行いました。



「男女共同参画推進室」は平成29年10月1日より、「ダイバーシティ推進室」に変わります。